

鈴木重孝『絹飾』男鹿市個人蔵

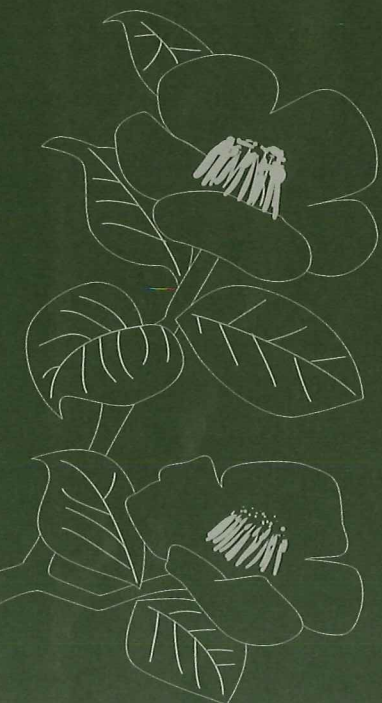


菅江真澄『男鹿の秋風』県立博物館蔵

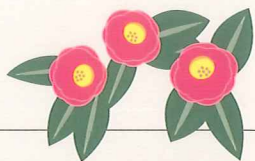
歴史に残る椿

江戸時代後期の紀行家 菅江真澄
や船越村こおりかたかんじょうの郡方勘定役 鈴木重孝は
椿地区を描いています。

能登山は昔、海に面し、裏側に道
がありました。



能登山の椿伝説



1 「来年の秋までにはかならず帰ってくる。おみやげにツバキ油と実をたくさんもってこよう。」男は船乗りで、毎年、椿港から南の国に材木を運んでいた。



2 約束の年から三度目の秋。娘は能登山から毎日海をながめて暮らしていた。寒い冬がやってきても若者はついに帰ってこなかった。



3 恋する船乗りが死んだと思い、娘はある雪の寒い日に、能登山から海に身を投げた。



4 四年目にやっと帰ることができた彼を待っていたのは悲しい知らせ。彼は悲しみ、能登山にある彼女の墓のまわりにツバキの実をまきながら、このツバキが大きくなって自分の代わりに墓を守ってくれることを祈った。そして港を出ていき、二度と帰ってこなかった。



5 若者のまいたツバキは毎年花を咲かせ、ついに能登山はツバキの木でおおわれるようになった。心なき村人のなかには、ツバキの花をとったり、移植しようとする者もあったが、その人たちには不幸が訪れるので、だれも能登山のツバキには手をふれなくなった……

イラスト：本川寿賀子

【お問い合わせ】

男鹿市教育委員会 生涯学習課 文化財班
電話 0185-24-9103 FAX 0185-24-9156
E-mail syougaigakusyu@city.oga.akita.jp

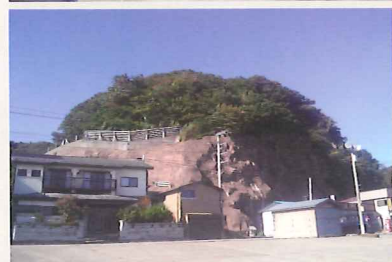


天然記念物ツバキ自生北限地帯を 守っていくために……

男鹿市教育委員会
2014年3月

[天然記念物]

ツバキ自生北限地帯 指定範囲



郵便局裏の山

治山事業で工事された斜面と、その上の林です。ヤブツバキやミズナラ、イタヤなどいろいろな植物が林をつくっています。



能登山

榑地区のシンボル「能登山」。春には一面のツバキが美しい花を咲かせます。能登山には伝説も残っています。山頂には星辻神社があります。

北側の山

ヤブツバキの自生が確認されたため、天然記念物の範囲に追加指定されました。スギやイタヤが茂る林です。



ツバキ自生北限地帯 (天然記念物)
指定面積 9,566.82 m²



自生ツバキを守っていくため みなさんにお願ひがあります……

〈お願ひ〉

1. ツバキの木を切ったり、剪定しないようにしましょう。
必要な場合には事前にご相談ください。
2. 能登山付近のツバキ群落は長い間自然状態で維持されてきたものですので、土や肥料を入れないようにしましょう。かえってツバキに悪い影響を及ぼすことがあります。
(土や肥料に混じっている種などで交配したり外来種が入りこんでしまう、必要以上に枝幅が広がり、木に負担になる)

※ 1. 2. のことでも、ツバキを保護する目的で行う場合はできることもあります。
教育委員会 生涯学習課文化財班にご相談ください。場合によっては文化庁からの許可が必要ですので、早めにお願ひします。
3. 星辻神社への道や能登山の周りなどの下刈り、周りへ伸びているツルや木の細い枝(ツバキ以外)を切ることは制限がありません。くれぐれも安全に注意して、また、ツバキを傷つけないようお願いいたします。太い枝を切ったり、伐採する必要があるときはご相談ください。
4. 指定範囲内の現在の建物を改修する、土地を掘削するなど、形を変えるときは事前に文化庁からの許可が必要です。計画の段階で早めにご相談ください。

その他、ツバキに何か変化(折れている・弱っている など)がありましたら
男鹿市教育委員会 生涯学習課 文化財班 (電話0185-24-9103) にご連絡ください。